

戦争反対！ 憲法守れ 若い人がビラ受け取り 東海ブロックいっせい宣伝 115カ所、494人が参加

日本共産党の愛知、岐阜、三重、静岡の各党組織は20日、ブロックいっせい宣伝に取り組み、4県115カ所で、197支部494人、議員・候補者52人が参加しました。

◆愛知 名古屋市の金山駅前では、本村伸子前衆院議員、須山初美党県副委員長が県勤務員や労働者後援会の人たちと宣伝しました。本村氏は「自民党単独で改憲の国会発議ができる危険な状況だ。憲法9条があったからこそ自衛隊員が戦地で殺し殺されるのがなかった」と訴え。須山氏は「ホルムズ海峡封鎖でプラスチックやゴム、医療資材などの不足や高騰の影響が出ている、戦争反対の声を上げよう」と訴えました。若い人や外国人の方もビラを受け取り、何人も「しんぶん赤旗」見本紙を受け取っていました。

◆静岡 三島駅北口では、「早く戦争をやめさせなければ」「高市さんアブナイ」などの声が寄せられました。函南町の伊豆仁田駅では「戦争反対のチラシです」と声をかけるとよく受け取ってくれました。同町のJR函南駅、伊豆の国市の伊豆長岡駅、田京駅などでも宣伝しました。

岡の前では小学生もじつと話を聞いてくれました。

◆岐阜 中津川市では市内7カ所で取り組み、のべ43人が参加しました。アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に、日本政府が戦争終結にむけて外交交渉を求めると、物価高騰やエネルギー価格上昇が暮らしに与える影響、大企業・富裕層への応分の負担による賃上げとくらし支援を訴えました。

◆三重 松阪市の宣伝では、車の中から多くの人が手を振ってくれ、若い外国人男性や女性からも手を振った。イラン攻撃反対のスタンディングにも多くの反応がありました。

伊賀市でのスタンディング・街頭宣伝にも車から手を振ってくれるドライバーが多くいました。



名古屋市



中津川市



静岡市



桑名市

5月の東海ブロックいっせい宣伝は18日(月)です

した。伊勢市でも以前より多くの人がビラを受け取っていました。

桑名駅前では多屋直美市議らのべ21人が参加し、「たやニュース」や「しんぶん赤旗」見本紙を配布、新しくもらってくれる人も見かけ、ニュース35部、見本紙23部を配布しました。「戦争反対」のプラスタ1を見ていく人など戦争の問題に関心があるようでした。多屋市議は国際法、国連憲章違反のアメリカ・イスラエルを批判、党創立103年、戦争反対を貫いてきた日本共産党と力を合わせて戦争を止めようと訴えました。